



都留市は、

さわやかで住みよい

まちづくりのために、

下水道の整備を積極的に

進めています

下水道の役割

下水道は、トイレの水洗化等による生活環境の改善とともに、河川、排水路等の公共用水域の水質保全という役割を有し、住民が健康で安全かつ快適な生活をおくるうえで必要不可欠な施設として整備が要請されています。

都留市には、市内の中心を流れる桂川をはじめ、これに注ぐ菅野川、大幡川などの中小河川が多数あり、これらの河川は昭和四十年代までは豊かな自然に抱かれその清流を誇っていました。近年では、生活様式の多様化、都市化が進み水質汚濁が目立つようになりました。

このため桂川等の河川の水質を改善し、「若鮎の躍る清流」づくりを目指し、併せて生活環境の改善を図ることを目的に下水道事業を行っています。

下水道のしくみ

各家庭の台所、風呂やトイレ、さらに工場などから出た汚れた水は管きよに集められます。下水道の管きよには勾配がつけてあり、自然に流れるようにしてあります。しかし、地形が平坦な時は、ところどころにポンプ場を設けて流れてくる水の中継したり、くみあげたりして流れをよくする工夫をしています。

こうして集められた汚水は、下

水道施設の中心である終末処理場で生物科学的に処理され、安全できれいな水にして川や海へ流されます。

流域下水道とは

山梨県が国の補助金、県費および流域下水道管を布設する市町村からの負担金により建設する下水道のことで、二つ以上の市町村の汚水を集め、処理場まで運ぶ幹線とその汚水を処理する終末処理場を建設し、管理運営を県が行うものです。

現在県内には、富士五湖周辺を処理する富士北麓下水道、笛吹川水域を処理する峡東流域下水道、釜無川水域を処理する釜無川流域下水道の三箇所が稼働しており、県内最後の流域下水道として桂川流域下水道が平成五年度に着工されました。

公共下水道とは

都留市が市費等で建設する下水道のことで、処理計画区域内の各家庭から排出される汚水を、流域下水道へ接続するための下水道のことです。

この工事は、各家庭の汚水を集めるために、ほとんどの道路下に網の目状に下水道管が埋設されるため、交通規制して施工していますので、市民の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、しばらくの間ご協力をお願いします。